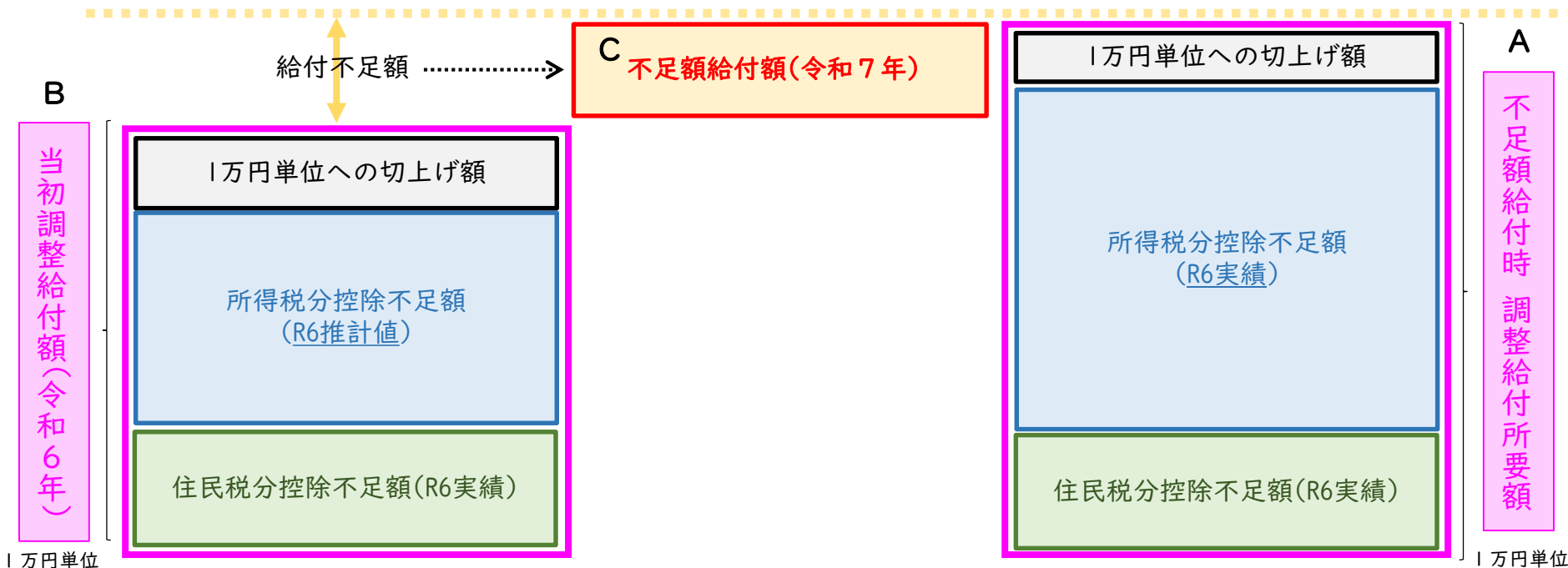


【イメージ】

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{不足額給付時} \\ \text{調整給付所要額} \\ \hline \text{A} \\ \hline \text{(1万円単位)} \\ \hline \end{array}
 -
 \begin{array}{|c|} \hline \text{当初調整給付額} \\ \text{(令和6年)} \\ \hline \text{B} \\ \hline \text{(1万円単位)} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline \text{不足額給付額} \\ \text{(令和7年)} \\ \hline \text{C} \\ \hline \text{(1万円単位)} \\ \hline \end{array}$$

【当初調整給付時点】

【不足額給付時点】



- ※ A「不足額給付時の調整給付所要額」とは、定額減税を補足する給付金として本来給付すべき額のことであり、令和6年分所得税等が確定した後に、その確定額を用いて「定額減税しきれない額」を再計算することで求めるものをいう。
- ※ 不足額給付時に算出した調整給付所要額(A)が当初調整給付額(B)を下回った場合にあっては、余剰額の返還は求めない。